

第14回目は特定非営利活動法人神通砂防の竹腰理事長にインタビューを行いました。

生活基盤の確保で得られた安心感を礎に、 連携と発信力を強化し地域力向上を

- ・我々の活動する奥飛騨、上宝の地区においては、観光業と農業、そして地域の防災事業に関わる機会の多い建設業の三つの柱がしっかりとしていることが重要。
- ・その中で、特に観光については、一時期の温泉ブームや安房トンネルの開通による関東方面からのアクセス改善により100万人を越える規模のお客様にお越し頂いていた時期から、現在は60万人を下回る規模となっており、少なくなったダメージはある。ただその一方で、人がごったがえさない落ち着いた温泉地になっている状況でもある。
- ・この落ち着いた温泉地に関心を持たれるお客様にコンスタントに来て頂ける地域を指向するなかでは、日本一の露天風呂の数を含め、過去と同様にきて満足頂ける資源は豊富に存在している。但し、合併前の上宝村は岐阜県で最も大きな村であったことが示すように、非常に広いエリアに資源が分散していることが課題であり、これらの魅力が高め合えるよう地域としての連携が重要と考えている。
- ・例えば、奥飛騨温泉郷の一つ、福地温泉においては、エリアが狭いところにお宿が集中していることもあり、それぞれの温泉旅館などが連携し景観の統一やイベントを実施すること等によって、それぞれの魅力を高めている一つの例ではないかと思っているが、このような動きを広域的にどのように進めていくかが課題である。
- ・その広域的に連携する動きの一つとして、我々NPOもその推進に協力をさせて頂いている**ジオパーク認定**に向けた取り組みも挙げられるのではないかと。まだ緒に就いたところであるが、広域的に広がる**ジオパーク**に係る要素に対し、行政と地域が一体となってその推進に向けて取り組んでおりこれらが結実していくことにより地域力向上にもつながっていくものと期待している。
- ・またこの地は、平成17年の合併により上宝村から高山市へと変わっており、その結果として日常生活の基盤となる水道、消防、火山防災、学校耐震化等の取り組みについては、財政規模の小さな村当時より安心感が高まったものと感じている。
- ・その一方で、個別の自治体ではなく高山市の一部となったことから、地域の良さ、想い、課題などの情報を発信する力が弱まったようにも感じている。我々の活動するNPO神通砂防も、地域における火山防災、砂防の重要性をしっかりと発信していく必要性から、これまでも活動してきたところである。生活基盤確保による安心感の高まりを礎としながら、地域の情報をしっかりと発信していく力をつけていくことが観光面、防災面、農業面、それぞれの柱においても重要ではないかと考えている。
- ・これら広域的な地域における連携の重要さや、発信力を高めていくことに加え、観光、防災、農業それぞれの柱に対して、道路整備は合併による生活基盤確保と同様に、地域の基盤として重要と考えている。
- ・今後とも、生活の基盤である国道471号や高山そして松本方面へのアクセスを担う中部縦貫道など地域が安心感をしっかりと得られる水準であってほしいと感じており、そういった安心感を礎に地域力向上に取り組んでいきたいと考えている。



NPO法人神通砂防
竹腰理事長



『ジオパーク』とは・・・「地球・大地（ジオ：Geo）」と「公園（パーク：Park）」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球（ジオ）を学び、丸ごと楽しむことができる場所。

大地（ジオ）の上に広がる、動植物や生態系（エコ）の中で、私たち人（ヒト）は生活し、文化や産業などを築き、歴史を育んでいます。ジオパークでは、これらの「ジオ」「エコ」「ヒト」の3つの要素のつながりを楽しむことができます。我々が飛騨も「飛騨山脈ジオパーク推進協議会」を平成28年12月に設立し日本ジオパークの認定を目指しており、本リレーメッセージのNPO法人神通砂防もその推進の一翼を担っています。

飛騨山脈ジオパーク協議会Facebook ⇒ <https://ja-jp.facebook.com/hidageopark/>

飛騨高山高校3年生生徒による水生昆虫・樹木の調査 ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”における令和最初の環境学習～



今年で15年目を迎えました

飛騨高山高校環境科学科3年生31名が令和元年5月10日(金)に、高山西インターチェンジ内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、春の環境学習を行いました。ビオトープでは、2チームに分かれ、春に見られる水生昆虫(トンボのヤゴ等)の捕獲・識別実習と樹木の生育状況調査実習を行いました。

水生昆虫の捕獲・識別実習ではトンボのヤゴ約50匹やマツモムシ、ゲンゴロウ類といった水生昆虫に加えてドジョウも15匹確認しました。また春に羽化するトンボの仲間の飛翔も確認されました。



【水生昆虫(トンボのヤゴ等)の捕獲】



【捕獲した水生昆虫等の分類】



【捕獲した水生昆虫等のスケッチ】

樹木の生育状況調査実習では、樹木の特徴を学習するとともに、樹木の高さや幹の太さの測定、枝の広がり具合を調査し、植樹した樹木の成長具合を確認しました。



【幹の太さの計測】



【枝の広がりを計測】

同校と高山国道事務所が平成22年に締結した「ビオトープの維持管理に関する協定」に基づき定期的に実施しているもので、環境学習を行うことで、自然環境調査に必要な基礎的な知識と技術の習得および飛騨の自然環境の習得について理解を深めています。また、これまでの同校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が増殖又は再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が改善又は維持されています。

飛騨高山高校の2年生生徒によるギフチョウの保全対策 ～高山清見道路にてモニタリング調査を行いました～

中部縦貫自動車道高山清見道路4工区(高山IC～丹生川IC【仮称】)建設予定地内には、絶滅のおそれのある重要な種が確認されており、高山国道事務所では、これらの重要な種に配慮するため、移植など様々な保全対策を進めております。

平成26年度、道路建設予定地内で確認された重要な種であるギフチョウの卵がついたヒメカンアオイ(ギフチョウの食草)を、飛騨高山高校と高山国道事務所が協働して移植作業を行いました。

以後、毎年移植後のモニタリング調査を実施しており、今年度も5月13日(月)に「飛騨生態調査研究室」代表の大森清孝先生と「ギフチョウの翔ぶ里山の自然を考える会」会長の鈴木俊文先生を講師としてお招きして、飛騨高山高校環境科学科2年生4名が、保全対策として森林内に移植したヒメカンアオイの生育状況とギフチョウの産卵状況の調査を行いました。



【ギフチョウの生態について説明
する鈴木俊文先生(左手前)】



【ヒメカンアオイの生育状況
(葉の枚数)の調査】



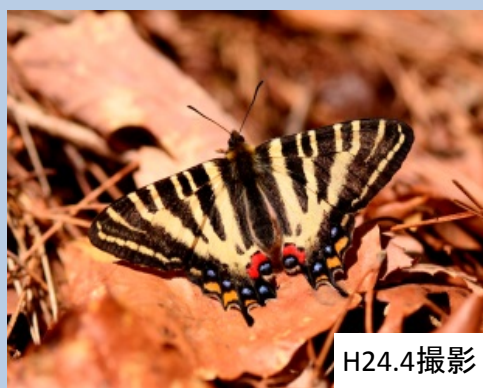
【ギフチョウの産卵状況調査】

生徒たちは、講師の方々にギフチョウとヒメカンアオイの生態について教わりながら調査を実施し、ヒメカンアオイの葉の枚数を数えるとともに、葉を1枚1枚慎重に裏返してギフチョウの産卵の有無を調査しました。移植地でヒメカンアオイを確認した結果、9卵塊82個の卵が確認されました。移植した株から卵塊が確認されるとともに、工事進捗によって以前より日光が差し込むようになった結果、元から自生しているヒメカンアオイも葉が茂り、こちらからも卵塊が確認されました。今年はギフチョウの羽化が例年より遅いようで、飛翔するギフチョウも確認されました。

ギフチョウの生息環境を維持するために、今後も飛騨高山高校と協働して保全対策を行っていきます。



【確認したギフチョウの卵塊】

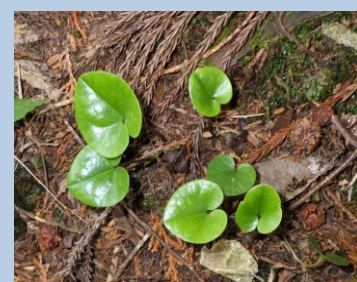


H24.4撮影

●ギフチョウ

- ・環境省レッドリスト: 絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種)
- ・岐阜県レッドリスト: 準絶滅危惧(岐阜県内で存続基盤が脆弱な種)

※「レッドリスト」とは、絶滅のおそれのある野生生物について記載したデータブックです。日本全国を対象としたものは環境省が、岐阜県内を対象としたものは岐阜県が作成・公表しています。



ギフチョウの食草
ヒメカンアオイ



- ・東海北陸道と高山市街地間のアクセスは国道158号をご利用いただけます。
 - ・気象状況、工事の進捗状況等により、通行規制期間を変更する場合があります。
 - ・通行規制期間中は、現地の工事看板等をご確認いただき、注意して通行願います。
 - ・災害対応等により、一部道路で通行規制を行っている場合があります。
- 最新の規制情報をご確認ください。

通行止め情報

<通行止め区間>

中部縦貫道

高山西IC～飛騨清見IC 上下線

<通行止め日時>

2019年

5/13 (月) 8:30～
7/12 (金) 17:00



通行止めを行うのはなぜ??

傷んだ舗装や橋の修繕などを行うために通行止めが必要となります。
大規模な補修となるため、長期間の通行止めとなり、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

国土交通省 高山国道事務所 管理第一課
TEL.0577-36-3823
FAX.0577-36-3841
国土交通省 高山国道事務所 高山維持出張所
TEL.0577-34-3191
FAX.0577-35-2468

道路情報

【日本道路交通情報センター】 全国情報 (音声案内) 050-3369-6666
岐阜情報 (音声案内) 050-3369-6621

【高山国道事務所HP】 <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>
【ひだ道ガイド】 <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/>

ひだ道ガイド

検索



道路の異状を発見したら...

道路緊急ダイヤル

#9910

(通話料無料・24時間受付)

令和元年5月21日発行

担当: 計画課

編集・発行 中部地方整備局 高山国道事務所 〒506-0055 高山市上岡本町7丁目425番地

TEL (0577)36-3822 FAX (0577)36-3801 URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>

終日全面通行止め

中部縦貫道
高山西IC
～
飛騨清見IC